



昭和26年度

# 事業報告書

鹿児島縣 水産試験場

鹿児島市洲崎町2-1

鹿児島縣水産試験場串木野分場

串木野市浦和町

鹿児島縣水産試験場西之表分場

熊毛郡西之表町野首

鹿児島縣水産試験場笠沙分場

川辺郡笠沙町仁王崎

鹿児島縣水産試験場志布志分場

薩摩郡志布志町 帖

鹿児島大学附属図書館水産学部分館

2月17日

鹿児島市

新種

体長組成	体長組成		肥満度組成		卵重組成	
	階級	個数	階級	個数	階級	個数
a	178~182	1	9.5~10.2	1	0.16~0.25	1
b	183~187	1	10.3~10.7	1	0.26~0.35	1
c	188~192	1	10.8~11.2	1	0.36~0.45	1
d	193~197	1	11.3~11.7	1	0.46~0.55	1
e	198~202	1	11.8~12.2	1	0.56~0.65	1
f	203~207	1	12.3~12.7	1	0.66~0.75	1
g	208~212	1	12.8~13.2	1	0.76~0.85	1
h	213~217	1	13.3~13.7	1	0.86~0.95	1
i	218~222	1	13.8~14.2	1	0.96~1.05	1
j	223~227	1	14.3~14.7	1	1.06~1.15	1
k	228~232	1	14.8~15.2	1	1.16~1.25	1
l	233~237	1	15.3~15.7	1	1.26~1.35	1
m	238~242	1	15.8~16.2	1	1.36~1.45	1
n	243~247	1			1.46~1.55	1
o	248~252	1				

平均体長		平均体重		平均肥満度		平均卵重	
体長	個数	体重	個数	肥満度	個数	卵重	個数
22.1	100	145.4	100	13.35	20		
生殖線平均重量				胃内容			
性比		♀		♂			
♀	♂	個数	重量	個数	重量	平均重量	個数
59%	41%	100					

漁獲条件

操業日 2月2日 揚網時刻 19時40分

漁場位置 31°57'N, 129°57'E 流網時間 3時間22分

漁具要目 78 節 25 尺

浮網樽の長さ 15 尋

魚種別漁獲量 2173 500 貫

海況その他

天気 C 気温 12.6°C, 風向 NE, 風力 1, 雲量 10, 雲形 N

水温表面 18.2°C, 5m 18.2°, 10m 18.5°, 25m 18.6°, 50m 18.7

水色 3, 透明度 19m, 波浪 1, ウネ 1, 流方向 SE

その他特異現象

目 次

一本場

漁撈部

鯉竿釣漁業調査試験..... 1  
 鰻魚海区における鯉漁況調査..... 2  
 鰻魚延縄漁業調査試験..... 3  
 遼洋横断観測..... 3

製造部

生詰製造試験..... 3  
 真鱈(焙干)大和煮生詰製造試験..... 4  
 惣田鯉(生詰)大和煮生詰製造試験..... 4  
 鰻(生詰)大和煮生詰製造試験..... 4  
 鰻大和煮生詰製造試験..... 4  
 瑪珂貝大和煮生詰製造試験..... 4  
 とこふし生詰製造試験..... 4  
 瑪珂貝刺身歩留試験..... 4  
 味淋乾製造指導..... 4

養殖部

アサクサノリ養殖試験..... 4  
 車工ヒ巻養試験..... 6  
 鰻資源委託調査..... 6  
 黒蝶介棲息地海洋観測..... 7

一串木野分場

漁撈部

鰻産刺網漁業試験..... 12  
 鰻一本釣漁業試験..... 13  
 箱流網漁業試験..... 14  
 鰻刺網漁業試験..... 14

増殖部

牡蛎養殖試験..... 166  
 沿岸海洋調査..... 173  
 鰻魚体調査..... 191  
 アサクサノリ養殖試験..... 203  
 鰻資源委託調査..... 209

西之表分場

漁撈部

鰻釣漁業試験..... 230  
 旗魚・鰻延縄漁業試験..... 242  
 飛魚魚群調査..... 252  
 馬毛島飛魚漁業漁況調査..... 253

養殖部

海人草移植・増殖試験..... 258  
 定矣観測表..... 262

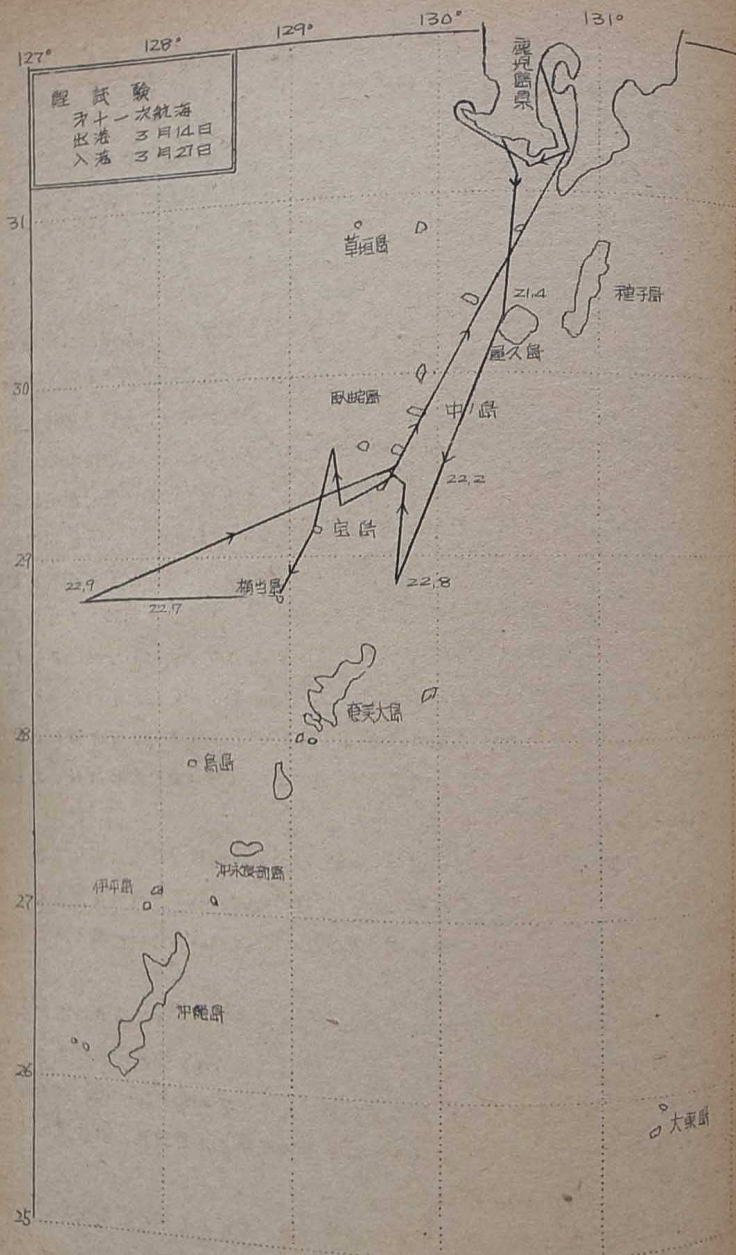
笠沙分場

漁撈部

底延縄及び餌料用鰻一本釣漁業試験..... 260  
 宇治群島海綿分布調査..... 265  
 鰻刺網漁業試験..... "

製造部

惣田割龜節製造試験..... 270  
 油軟肝油製造試験..... 273  
 赤之い肝油製造試験..... "  
 鰻鱈乾し製造試験(共同試験)..... 275  
 佃煮製造試験( )..... "  
 鰻味噌製造試験( )..... "



### 越南海域における鯉漁況調査

観 旨 本県遠洋漁業の大宗をなす鯉漁業について従来より春期において漁況調査の調査試験を実施しているがこれに併行して本県に水揚げする入港船による漁況調査を実施し、より一層の発展を期せんと努めし。

#### 漁況・漁況

鯉釣近海は早くより $23^{\circ}-25^{\circ}\text{C}$ の高水温帯が出現し一月下旬には初漁を見て一航海当り2000 $\times$ 3000メの水揚げをなし、その後次第と活況を呈して三月初旬福南西沖合(北緯 $26^{\circ}$ 線)に停泊した高水温は各日に七島近海北よせずつて魚群の北上もかく七島附近に従漁する中小型船は全く振はなかつた。

二月に入り七島近海は 表面水温 $21^{\circ}\text{C}$ で平島WNW10里恩石島富島附近にて中小型の群を見たが餌付が悪く *lat*  $28^{\circ}-20'N$  *long*  $127^{\circ}-30'E$  附近にはサマ付小群も見受けられ 又駒島西から横当島附近まで $22^{\circ}\text{C}$ 水帯が玄範囲に及び分所し島島W20里附近では島付大群が見られたが小餌付のちのちの漁は不良であつた。赤尾島近海ではびんちようの群が多く餌付も良好であつた。

二月下旬になつて鯉釣島附近は $25^{\circ}\text{C}$ の高温で中小初めの群が多く湾上し餌付も少々良好で又久米島富島附近は水温 $23^{\circ}\text{C}$ で久米島よりNWの玄範囲に亘りびんちようの群が多く、島島臥蛇西附近では島付鯉の大群が見られたがいずれも餌付は悪かつた。

三月七島近海(北緯 $29^{\circ}$  東経 $129^{\circ}$ )に $23^{\circ}\text{C}$ の水帯が直り漁にあらはあつたが良好で500-3000メの漁獲をなし、中旬に入り同水帯は緩分遷した、ゆ漁場は再び奄美大島以南に縮小され臥蛇西附近も魚群は認められるが餌付ははしく漁況は消不振となつた。

四、五月横当島及宝島西方を約50-60里の中で北上する暖流は中心部の水温 $25^{\circ}\text{C}$ で臥蛇島附近で二分した模様で漁場は横当島から臥蛇西に至る水温 $22^{\circ}-23^{\circ}\text{C}$ の暖流東側潮境にある鯛付群でとれに臥蛇西の方50-100里をNEに走る $21^{\circ}-23^{\circ}\text{C}$ の暖流西側潮境には致分冷水帯と北上暖流とが混流して複雑な水帯をなして好漁場を形成した。

六月北部漁場においては草垣宇岩島近海に北よして $22^{\circ}\text{C}$ 前後の比較的低温帯に魚群があるも餌付が悪く横当、北島島更に南方の伊平島富久米島各方面では本旬に入つて水温の上昇が目立ち $26^{\circ}-27^{\circ}\text{C}$ が玄範囲に亘つて北よ

し、これら潮流系と西御沖合水帯との接触線は百幕線に沿ってIV区に達しており魚群も散在していた。一般に六月は、空 懸石、臥蛇、口之島、宇治の各島附近の鰹付板わず、西御沖合及び久米島南方海区でも鰹泥は運搬に高水温による餌料鱈の斃死が多く見られた。

北緯28°以南にあつた28°Cの水温帯は七月に入り北緯32°Cで一季に達し、近は小群2,3あるも漁は香はしくなく魚群も遠く高温のため鰹の斃死も立って来た。

八月には七島近海の30°C水域は益々拡大され陸岸厚久島は殆んど29°C水域となつたが、マージ台風大型船は lat 27°-30' long 127°附近にて好漁をした。

九月月々群島より中・島附近(北緯30°)まで26°C水帯が広範囲に分布し、27°C水帯は厚久島をNEに帯状をなし和井川中谷まで延びているので、岸臥蛇面岸は西水帯の接触をなし、今好漁況を呈している。尚久米島、島を中心として28°C水帯が円状に分布しており、同島附近は好漁のものの大型船は殆んど同海区に集つてゐる。七島附近においては流木付が多く見られるが魚群の獲獲が遠く釣獲率も良好でない。

十月厚久島以南の黒潮本流海域は水温の低下が急速で23°C水域に狭はるが、稍低目であるが地は25°C以上で中小型船は臥蛇面に大型船は殆んど久米島島に集中したか漁はまばらであつた。

十一月横当島及び空島西方を北とする潮流は中心部の水温25~26°Cで、中・小型船は全部臥蛇面の鰹付群と大型船は島近海の鰹付並に運搬に集中しているが加年比に比し群が少なく餌付も良好ならず従つて獲も香はしくなく本年の鰹漁業も末期となる。

鰹 業 船

先ず本果組合船の艘付状態を見ると下表の如くなる。

振興地	隻数	100吨以上		
		50吨~100吨	50吨未満	
枕崎	12	5隻 700.18吨	8. 587.31	
山川	9	70回 895日	149. 1726	
坊泊	16		9. 64698	
鹿兒島	3		164 1711	9. 34592
			7 644.66	226 1859
		131 1,610	3 293.29	
		51 603		

100噸級の大型船は一月初まり一年中操業が殆んど、南緯久米島方面へ南下し従つて一般海の所要日数は臥蛇面を操業する50噸級 小型船の平均8日より長く13日である。

次に鹿兒島県下各水場港における延入港船数は

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
枕 崎	10	25	74	175	197	150	96	80	122	57	50	12	1060
山 川	1	7	50	104	111	104	41	29	32	19	10	1	509
坊 泊	1	1	4	3	19	5	3	3	9	6	7	2	62
鹿 兒 島	2		9	94	67	19	8	8	19	8	6		240

漁 獲 高

	か つ き	し む	びんちよう
組 合 船	1,387,885.7	178,772.3	31,598.3
員 外 船	1,182,364.6	274,477.8	
総 計	2,570,249.6	453,250.1	

各港における月別鰹水揚高

月	枕 崎		山 川		坊 泊		鹿 兒 島	
	かつき	しむ	かつき	しむ	かつき	しむ	かつき	しむ
1	14,658.4	187.7	1,02.7		3,85.1	89	2,563.5	134.0
2	6,290.5	2,321.5	1,694.1	11.6	213.1			
3	120,903	284,782	64,338.7	41,985.7	3,059.8	304.5	1,238.6	782.9
4	260,731.4	469,999.6	184,864.1	20,981.6	2,219.5	322	890,99.7	12,68.1
5	393,766.4	784,58.5	181,159.0	34,643.70	18,130.6	451.5	40,469	10,998.3

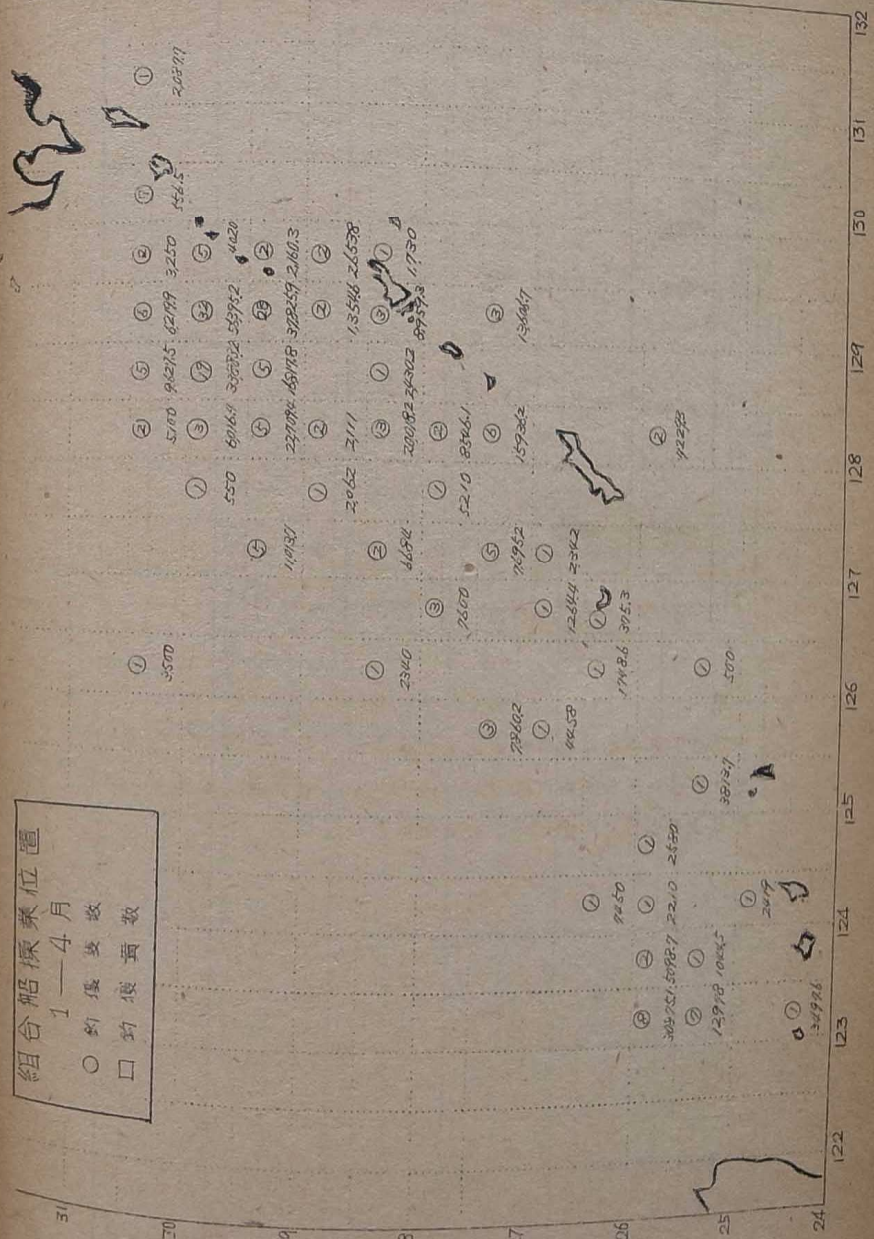
月	崎		川		坊		海		鹿		見
	かつを	し O'	かつを	し O'	かつを	し O'	かつを	し O'	かつを	し O'	
6	240,460.9	27,603.1	86,699.4	15,374.6	8770.2	1,580.5	2277.2	1,572.8			
7	130,387.0	10,730.3	25,251.4	2,609.2	950.8	169.6	1,570.6	577.3			
8	106,060.1	14,864.9	28,784.3	3,256.6	1,040.2	84.7	2,730.8	334.5			
9	208,036.4	36,149.2	49,058.2	5,204.6	5,563.7	704.5	4,507.8	1,187.0			
10	96,337.5	17,364.1	15,409.6	1,976.4	5,015.1	1,253.3	2,383.8	4,030.9			
11	62,331.7	10,580.7	13,715.8	1,036.3	5,237.0	886.5	3,091.6	1,867.5			
12	106,380.0	13,516.6	48,514.4	471.1	573.7						
計	1,707,238.6	275,088.4	622,268.7	134,247.4	51,101.8	9,539.7	149,650.5	34,374.6			

所 見

本年は魚群が前年度の如く密集せず散在し、大型船と小型船には大部のら  
びがあり、又餌餌料代高く且つ獲死が多く経営面に影響はあつたが、魚価亦  
昨年よりも高く中産にて止める船はなかつた。

組合船操業位置

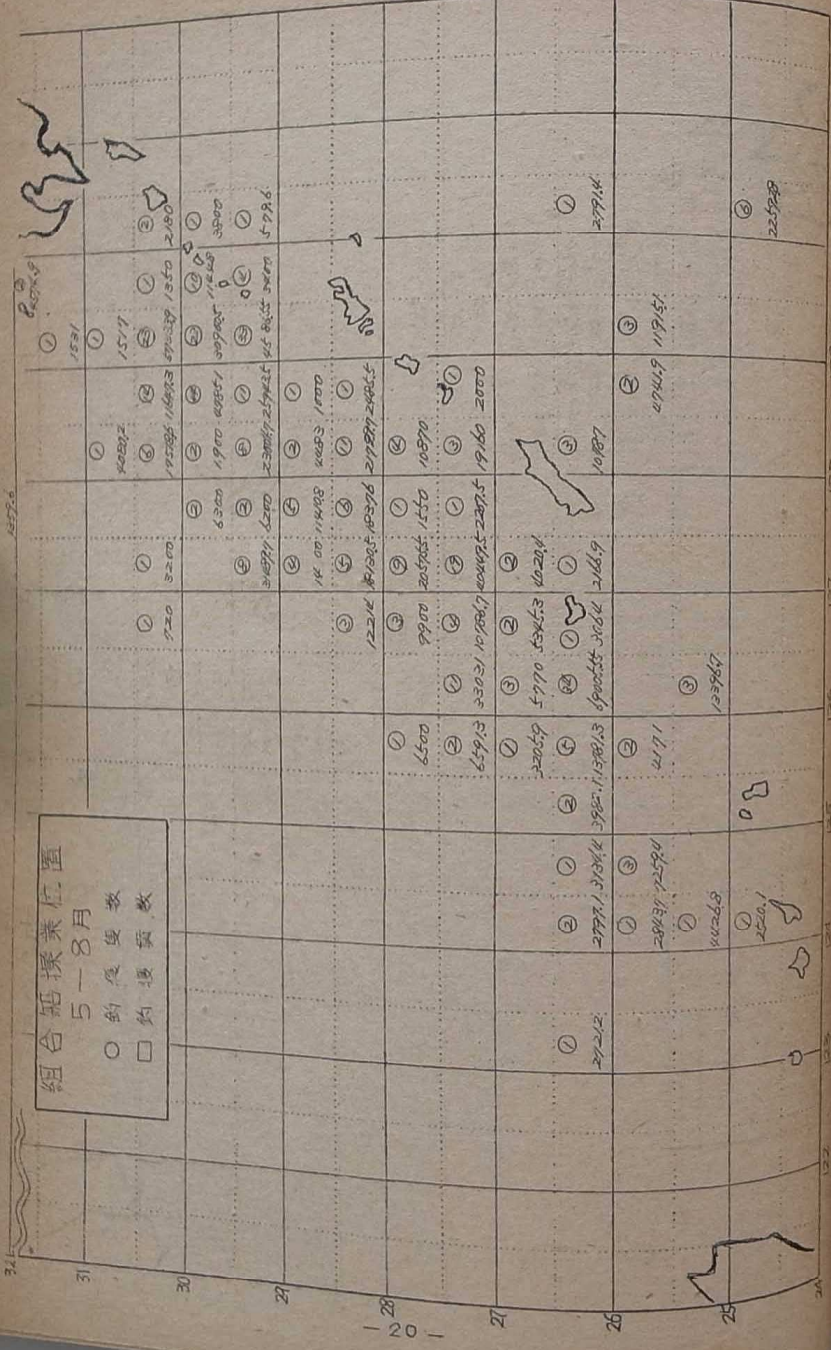
- 1—4月  
○ 釣獲量  
□ 釣獲量



組合船探業位置

5-8月

○ 釣獲隻數  
□ 釣獲質量數



組合船探業位置

9-12月

○ 釣獲隻數  
□ 釣獲質量數

